

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

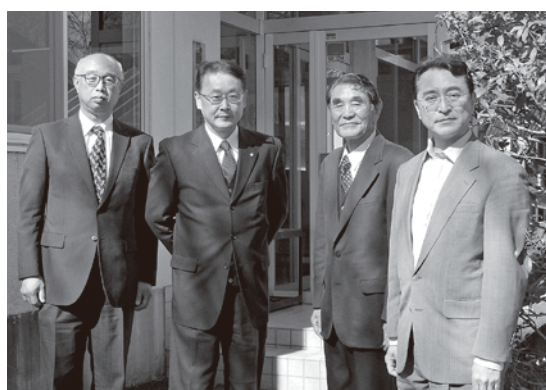
～ 事業所訪問 vol.1 ～

「(株)タナカ技研」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見、話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を今月号から連載します。



田中社長から製品の説明を受ける森町長



写真右から田中俊次社長、田中弘相相談役、森町長、長谷川副町長

町長の見て・聞いて・話して

第1回の事業所訪問は、2月6日に下小鹿野の(株)タナカ技研を訪問しました。タナカ技研は、慶応元年(1865年)に創業した田中屋商店がもとで、田中屋は下小鹿野地内でいろいろな事業を展開してきたといいます。

田中俊次社長、田中弘相相談役にコート工場(秩父市みどりが丘)とカット工場(下小鹿野)の2つの工場を案内していただきました。

タナカ技研は、ミクロの技術でIRカットフィルターを、蒸着(コート)から切断(カット)、外観検査まで一貫生産する、日本で数少ない会社だそうです。また、5ミリのチップに10ミクロンのゴミが1個でもあると不合格のため、徹底したクリーン環境というイチ押しの技術力で高品質を維持されていました。

社長のお話を聞いて、車の自動運転技術の進展などにより車載カメラ用の精密部品は今後需要が期待される製品で注目されていることがわかりました。また、若い社員が多く、笑顔で挨拶をしてくれるなど、明るい職場だと感じました。

わが社の主力製品

カメラやスマートフォンには必ず内蔵されている「IRカットフィルター」。人の目には見えない赤外線遮断して、人の目と同じように見える画像にします。IRカットフィルターは、あらゆるカメラに無くてはならない製品となっています。

ここに自信あり

IRカットフィルターは、コート工場(秩父市みどりが丘)で真空蒸着という方法で製造しています。まんべんなく蒸着するためには、ドームを回転させたり、ビームの強さや溶かし方など、いろいろな条件があり高度な技術が必要です。

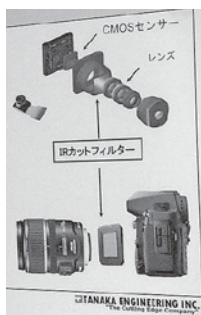
カット工場(下小鹿野)では、コートされた光学ガラスを使用される製品に合わせて、約5ミ角程度にカットします。カットはダイシング装置を用い、高度な技術が必要とされます。



クリーンルームでは、IRカットフィルターなどの精密部品が製造されていました。



定期的に行われる職場懇談会の様子。和気あいあいとした中、日ごろの課題や悩みを話せる場所となっています。



IRカットフィルターは、カメラに無くてはならない部品です。

会社概要

代表者 代表取締役社長 田中俊次
従業員数 115名(コート工場・カット工場)
創業 1977年10月
海外拠点 香港事務所、中国工場
所在地 本社:小鹿野町下小鹿野1658番地(カット工場)
みどりが丘工場:秩父市みどりが丘150-3(コート工場)